



北見西ロータリークラブ会報

2022～2023年度クラブテーマ

《コミュニケーションとふりかえり》

■創立日 昭和46年4月29日(1971/4/29)
 ■承認日 昭和46年5月27日(1971/5/27)
 ■例会場所 ホテル黒部(7条西1丁目)
 ☎23-2251
 ■毎週木曜日 12時30分～13時30分
 ■事務局 ☎25-2824

■会長 窪之内 覚 ■会長エレクト 齊藤伸一郎
 ■副会長 西村 清一 ■幹事 佐藤 尊人



イマジン
ロータリー

第2500地区ガバナーテーマ

「ともに紡ごう！ロータリーの未来へ」

第2437回例会

2023年4月6日(木)

ホテル黒部

本日のプログラム

母子の健康月間に因んで・ゲスト卓話「覚えよう応急手当」

北見地区消防組合消防本部 救急企画課 係長 瀬野 慎吾 氏 人間尊重委員会

第2436回 例会記録

2023/3/16

会長挨拶

窪之内会長



13日からマスクをしなくてもよいという事になりました、やっときましたね。4年間続いて、先日もお話ししましたが、中学生、高校生1年生で入った学生は3年間マスクをしっぱなしという事で、卒業する時に始めて外すという光景が見られて、みなさんにこやかでよかったですと思います。本日から自由ですのでマスクをされていても、外していても結構ですけれども、声を出して大いに雑談をしていただければと思います。

天気 ☁ (例会時) 最高気温 8℃



昼食

通し 路の湯葉和え
 小鉢 カスベのほっぺ
 チキンソテー 生姜風味 サラダ仕立て
 ご飯 味噌汁 香の物
 デザート コーヒー

幹事報告

佐藤幹事

- 1) 佐々木会員のご尊父が3月5日にご逝去されまして、慶弔規定の通り香典等を支出しました事を報告いたします。ご逝去に際して気付かず、会員皆様へ周知出来ず誠に申し訳ございません。心よりご冥福をお祈りいたします。
- 2) 次週例会及び次々週例会ですが、2週連続の特別休会となりますので、皆様お間違えの無いようお願いいたします。次回例会は4月6日(木曜日)の通常例会となります。
- 3) 3月25日(土曜日)に開催されますIMに参加される会員へ、13時より斜里町ゆめホールにて開会式となっております。バス移動ご利用の会員は11時迄に黒部ホテル様集合となりますので、お時間等お間違えのないようお願い申し上げます。尚、バスご利用の会員へ昼食にお弁当を準備させていただきますので、1,500円のご負担をお願い致します。

■ニコニコボックス 市村親睦活動委員

石田会員

少し良い事が有りました。

服部会員

今年も何とか3月15日乗り越えることができました。ニコニコ。

米川会員

父の葬儀に西ロータリーの会員の皆様には通夜・告別式と足を運んでいただきありがとうございました。

土井会員

母の葬儀にお参りいただきありがとうございました。

土井会員、米川会員より葬儀に対し、お礼の挨拶がありました。

母子の健康月間

服部委員長より説明の後、各リーダーより発表がありました。

■ 討論テーマ「自己紹介をしてください。」



1班 日時：3月2日(木) 万代(6名) 発表者 近江会員

この討論テーマを聞いた時に、正直、発表が難しいなと思いました。

グループで一番新しい会員は目黒会員なのですが、目黒会員も、先日、卓話で詳細な自己紹介をしてくれたばかりでしたし、まとめられるか自信がなかったので、私なりに用紙を作って、①出身は②現在の仕事について③趣味・特技④西ロータリークラブに入ったきっかけなど、質問を用意して行きましたが、結論から言うと、全く使いませんでした。

まず、大先輩の渡辺和勇会員から話をしてくれました。学生時代のエピソードをたくさん話してくださいましたが、その中で印象に残っていることをいくつか紹介します。

- ①渡辺和勇会員が18歳の頃、昭和26年頃ですが、当時は米の手帳を持っていた。いわゆる「配給用」の手帳があったそうです。
- ②ある会員が「ハイボール」を注文しました。そしたら、渡辺和勇会員の大学生の頃（昭和26年から30年頃）から「ハイボール」はあった、というお話を聞きました。
- ③大学を卒業後、マルハで有名な大洋漁業に就職したお話を聞かせていただきました。大洋漁業はその昔「大洋ホエールズ」というプロ野球チームを持っていたので、その応援に行った話から、何となく野球の話になり、ジャイアント馬場（馬場正平）がプロレスラーになる前、巨人のピッチャーだった頃、北見に来ていて、それを見たという話になり、しばらく野球の話で盛り上がりました。
- ④また、渡辺和勇会員の趣味の話になり、ゴルフの話になりました。昔は、現在の河西ぼたん園のところに打ちっ放しがあったことや、渡辺和勇会員が北見カントリークラブの立ち上げに携わり、最初は9ホールでスタートしたんだよという話を聞かせていただきました。
- ⑤その後、目黒会員が持ってきてくれた、昭和30年頃の北見の中心部の地図を見ながら、昔の貴重な話をたくさん聞かせていただきました。（個人情報は今ならあり得ない長者番付・昭和40年頃懐かしく、また若い会員には興味深い話でした。）
- ⑥気が付いたら2時間があつと言う間に過ぎてしまいました。何度か私も軌道修正を試みましたが、結局、他の会員の自己紹介をすることはなく、2時間、貴重なお話を他のメンバーが感心しながら聞いておりました。情報委員会の委員長の掲げたテーマの趣旨とは若干異なりましたが、それはそれで、楽しい2時間でした。以上です。



2班 日時：3月2日(木) 万代(5名) 発表者 鈴木会員

討論テーマ「自己紹介をしてください」ということで、出席されているメンバーの顔ぶれは、一番ロータリーの若い高田会員でも3年目で皆さん知っていますし、三浦さん8年、山本会員13年、小泉会員30年、川島会員37年、小西会員44年なので皆さんの実家・出身について今回はお伺いしました。

- Aさん…ご実家は北見の街の中で呉服屋さんです。跡は継ぎませんでした。ご本人は大学に進み、歯科医師免許を取って地元に戻り開業されています…小西会員
- Bさん…ゴルフをこよなく愛しています。以前、北見カントリーの役員もされていまして。網走のゴルフ場にも進出する気持ちもあったとの事。今はもう目をつぶっても、全てのコースがわかるとかわからないとか…川島会員
- Cさん…大学を出て、実家の北見に戻り、富士ヘルスセンターという名の特殊浴場を開業、40歳近くまでリーゼントをしていて、その背の高さと相まって、その筋の人と間違われることが多かったとか。自宅にかかってくる特殊詐欺のような電話が面倒なので、固定電話を外そうか現在検討中…小泉会員
- Dさん…実家は南湯というお風呂屋さんをしていました。以前は北見信金に勤めていました。若い時にパンチパーマ時代あり。車をこよなく愛し、今は白いアウディで落ちついていますが、若い時からスピードの出るものを乗り継いで来たとか。今の信金の片山理事長さんとは同期との事…山本会員
- Eさん…実家は紋別で、お父さんは漁師をしていました。跡は継ぎたくなかったとの事。ご本人はミサワホームに入社し、その後独立し現在は建築館みうらという会社を立ち上げ、住宅を建てられています。うなぎをこよなく愛し、南に行けば行くほどうなぎはおいしくなる。沖縄のが一番だとの事…三浦会員

私と高田さんは皆さんの話を聞き記録する一方でしたが、2班は北見の街の中の古い時代の話で盛り上がりました。北見の夜の街の様々なお店の名前をご存知の方も多いため、ここでは割愛させていただきますが、平成半ばに戻って来た私は経済が右上がりの時代の北見で働いて、朝まで飲んで、まだバリバリ仕事に行き…というお話が本当にうらやましく思います。町に歴史あり、人に歴史ありを拝聴した情報集会でした。以上で2班を終わります。



3班 日時：3月2日(木) 万代(8名) 発表者 市村会員

冒頭、溝口リーダーより自己紹介の他に夢や目標を語っていただければとのお願いがあり、まずは、溝口リーダーから自己紹介を始めて頂きました。

(溝口リーダー)

満州生まれで昭和21年に日本に引き揚げてきた。その際、銃口(鉄砲)を向けられ死ぬ思いをした。北海道に移り住んで48年経つ。過去、仕事中に屋根から落ちて大怪我を負い、人生2度目の死に目にあった。ロータリーを楽しみながら、たくさんの思い出作りをしていくことが今後の目標。モットーは「身の丈経営」

(田辺会員)

ロータリー入会時はすぐに辞めたいと思った。違う世界の雰囲気、毎週苦痛を感じていた。しかし、ある会員の方がきさくに話しかけてくださったことで徐々に変わっていき、会員の皆さんとイコールで話ができることが素晴らしいと感じることができるようになった。亀井さん、加藤さん、渡辺和勇さんたち大先輩が今もパークゴルフやゴルフを楽しんでいる姿、健康な姿が最高に見え、このような大先輩に追いついていきたい。会社には長年勤めている職員が多く退職者が少ない。それが誇りです。

(松井会員)

一度会社を辞め、旭川の会社に勤めたのち、再び今の会社に戻り、その2年後に社長が亡くなり、社長の奥さんと共に今まで来た。会社は「タオルプリント」「100円ライターに手作業で店名を入れるサービス」「交通安全の旗の制作」や「エアぬいぐるみの企画」「屋外広告の製作」などを行ってきた。料理が好きのため居酒屋を開く事が目標。コロナ禍だったため進展はしていないが、いずれは飲食業を行いたい。

(石田会員)

座右の銘は一つの会社に一生勤める意味の「一生一社」。仕事への情熱が無くなったら終わりかなと感じている。転勤により他町村のロータリーにも入会していた。稚内南ロータリーは飲むのが好きな会で強制的に飲まされ、酔いつぶれて会社を休んだことが1度ある。名寄ロータリーは重鎮が多く、入会当時は訳も分からないなか色々な事をやらされ苦痛だった。北見西ロータリーに入会し感じたことは、環境が良く皆さんざっくばらんで、ロータリーを知る人達からは一番いいロータリーに入ったと言われる。

(松浦章会員)

帯広出身。帯広三条高校に進学し野球部に所属。全道大会にも出場。その後、亜細亜大学に進学し、ファッションが好きだったため東京銀座に就職。しかし、長時間の通勤がきつくと退社し、帯広に帰り職探しを行う。北見信金帯広支店に入行し現在に至る。現在、銀行の変化として感じることは、お金以外の相談業務が増えてきており金融業界も変わってきている。妻は拓銀に努めていた。

(亀井会員)

中学卒業後、昭和20年に東京農大に進学。当時は汽車と船で2泊ほどかけて向かった。卒業後は父と知り合いだった東京の土建会社に入社。その後、北見に帰ってきて北見石灰に入社。父がロータリーに入会していたことから、兄ではなく自分が後を引き継いで入会することになった。色々な付き合いから裁判所などでの公職を任されることもあった。その間、たくさんの皆さんにお世話になった。体は元気だが最近、物忘れが多くなった。

(榊原会員)

病院開業20年。岩見沢生まれ。父と祖父が拓銀勤務だったため、幼少期は津別、雄武、札幌で過ごした。雄武では毛ガニをいっぱいもらい、食べきれずに畑に捨てていくこともあり、それが原因でカニが嫌いになった。札幌の幼少期時代は反社会勢力の方が周りにいて、過激な幼少時代を過ごした。北大医学部を卒業し、知り合いにはノーベル賞候補にもなりうる人もいる。北見ロータリーに入会希望だった。西ロータリー入会時は会長が桑原さんで会員は40名ほど。若者だったためやり放題だった。

(市村会員)

網走市卯原内で生まれ育つ。地元の高校を卒業し網走支店に入社。内勤2年を経て営業職に就き、網走時代は商店回りを担当。30才で遠軽へ転勤となり、今までは畑違いの飼料販売に携わることになった。過去の先輩たちが大きな功績を残した重要なエリアを受け継いだため、当時は休日返上で働いた。そのため子供2人には旅行なども満足に連れて行ってあげられず、申し訳ない思いがあり、現在、子供2人は大学生、高校生と大きくなってしまいましたが、家族みんなで海外旅行に行く事を夢として現在頑張っています。

以上、皆さんの発表が終わり、最後は雑談の中で先輩たちから、西ロータリーの暗い過去話しなどを聞かせていただくことができ、また、西ロータリーはそのような歴史を経て、今は非常に雰囲気の良い

いクラブになっているとのお話がありました。非常に有意義な時間を過ごす事が出来ました。



4班 日時：3月2日(木) 万代(8名) 発表者 佐藤幹事

討論テーマ「自己紹介をして下さい」という内容にて、棧リーダーより開会の挨拶にて、本当は欠席されたサブリーダーだった米川会員の自己紹介をしていただき、第4班の情報集会終了する予定だったとお話しいただき始まったのですが、せっかくならと米川会員の自己紹介を水上会員よりお話しいただきました。

- 1) 米川さんは楽しい人、55歳、仕事は玉ねぎを運んでいる運送業、ゴルフは少々並、ギターを弾く趣味があるけど、歌は少々並、夜のクラブ活動が得意、等を水上会員より発表されました。欠席すると色々言われ放題だなと思いました。
- 2) その他、出席された会員の特徴や趣味などで、丸茂会員が日本酒好きで銘柄など詳しい事を知りました。村田会員が直近スペインに母親と親孝行の旅をし、1名100万円、母と2人で200万円掛かったと、思い出はお金も掛かるなーと思いました。
窪之内会長と村田会員の父(西クラブチャーターメンバー)が仕事を通じて知り合いとして、村田会員を昔から見ていた事を知り、昔と今の違いを知りました。
1番自己紹介らしくお話しいただいたのが、棧リーダーにて、大学時代の柔道部活動遠征で色々な地域に行かれ経験してきたお話しをされました。同年代でも九州の学生はタバコいじり、女性いじり、何事においてもませていた事、新宿の合宿所に行った時に、隣の家が春日八郎(かすがはちろう)宅で、必ずお中元お歳暮を持ってくる「えみちゃん」という方も含め、どんちゃん騒ぎをしていたこと等のお話しをいただきました。

他にも面白いお話し沢山いただいたのですが、公開すると品格を疑われてしまう内容もあるので、こちらへんで第4班の発表を終了したいと思います。



5班 日時：3月2日(木) 万代(5名) 発表者 岡花会員

テーマは、会員が、クラブの会員の仕事や人となり、全く知らないということがないように、自己紹介してほしいという主旨だと、解釈しています。本来なら会員卓話でお話しいただくのがベストですが、お話しいただいた一部を、ご紹介させていただきます。

富田会員

ロータリー歴21年78歳。職業分類では、貨物運送となっています。富田通商、富田物流、富田運送の創業社長として業績をあげています。趣味は旅行で、コロナ前12年間北見信金旅行部会の会長を務められました。職歴は多岐にわたっています。木材関係の仕事、重機のオペレータ、タクシー運転手、自宅を担保に入れ運送業を創業、その後、ピアノメーカーや個人のピアノ配送の仕事がメインとなり業績がさらに上昇したようです。そして現在グループ会社の売り上げは30億円を超える規模になったそうです。節目、節目に、協力してくれた人がおり、そのおかげと感謝していました。

浅野会員

ロータリー歴13年70歳。職業分類では機械器具卸となっています。北見工業高校を卒業後伊藤機械店に就職、9年後、独立する職場の先輩に誘われ、退職、先輩の奥さんと浅野さんの奥さんの4人で起業したそうです。事業は順調に進んでいて、人材採用を相談したけど難しいと言われ、このままでは事業発展が望めないと思ったそうです。それで独立を決断したそうです。そんな時、元の伊藤機械から、戻るように誘われたそうです。商売敵で仕事をとっていた自分を、むかえてくれる、「戻ってこい」の一言がとても嬉しく、戻る決心をしたそうです。戻るからには、伊藤機械を更に、大きくしたいと思ったそうです。しかしながら経営陣が縮小そして廃業を検討していることを知り、将来を見て、2度目の決断をし、平成17年1月に北ツール(株)を起業。1年目で目標の売上以上に達し現在に至っています。

斎藤会員

ロータリー歴10年で71歳。斎藤商店の3代目社長として活躍され、現在は会長となって、息子さんが4代目の社長になっています。職業分類では再生資源卸となっており、業歴は102年目と長くそれだけ多く社会貢献されています。大阪西成での共同生活を含めた時間が、ご自身の人生にとって、大きな影響があったそうです。好きな事はサザンオールスターズのコンサートを聴きに行くことです。近年では家電リサイクル処理に関する仕事もしているようです。

迫田会員

ロータリー歴7年になりますが、38歳と、西ロータリーでは1番の若手です。今後更なる活躍が期待されています。職業分類は損害保険です。家族は奥さんとお子さん3人です。趣味は、ゴルフと音楽鑑賞とのことです。大学卒業後、損保ジャパンの後継者コースで1年間研修を受けて、翌年、有限会社みどり入社されました。現在専務取締役で2代目になります。また西ロータリーで様々な事を勉強させて頂いている事と、会員の皆様との出逢いに感謝していました。

岡花茂

ロータリー歴20年75歳。大学卒業後、サラリーマン生活、その間東京、神奈川、愛知と転勤、そして最後は小田原に転勤しました。仕事は、設計部門にいて、論理回路の設計にかかわっていました。29歳で、能力の限界を感じて北見にかえってきました。職業分類は、椅子テントとなっています。2代目として、業歴は77年になります。今は、会長で、息子が、3代目の社長となっています。

情報集会で感じたことですが、富田会員・浅野会員は創業者、迫田会員・岡花・斎藤エレクトは2代目・3代目です。創業者の行動力の凄さに驚かされます。以上です。



6班 日時：3月8日(水) 万代(8名) 発表者 松浦(信) 会員

テーマはお互いを知るために自己紹介をということで、会話はたぶん弾むだろうなあと思いましたが、極めてまとめづらいいものであるという印象を持っての開催となりました。

そこで会員の皆さまに、近況報告を兼ね自身とロータリーとの関わりや入会のいきさつ、仕事のことなど自己ピーアールも含めて自由にお話をいただきました。中には自慢話も飛び出すほど気持ちよくお話し下さった方もいました。全体としてとても中身の濃い話し合いになりました。

それぞれ皆さまのお話いただいた内容は、出身や年齢、ロータリー歴、自身の仕事の内容や入会のいきさつなど、普段なかなか聞けない興味深い話しにお酒も進みました。またコロナ禍の中で苦勞している近況などは、共感を覚えました。

その中で興味深かった点として、若い会員にとってロータリーに入会してとても良かったと思っていると話していたことでした。普段出会うことのない多くの人との出会いがあったこと、そしてその方達と壁を作らず話しができる間柄になったことに幸せを感じると話されていたことが非常に印象的でした。このような小さな街だからこそ人と人との繋がりが大切なことだと考えているんだと感じました。また話しの中で今自分が直面している問題点に助言をいただける仲間が実は近くにいたことも、他の会員の話しを聞いて気づかされたという偶然もありました。また成功モデルの一例として、北見であまり知り合いもなく、これから仕事を拡張していく中で出会いを求めてロータリーに入会して、ロータリーのビジネスプランが出来上がったという話もありました。大きな建物を建設するにあたり相談に乗ってもらい、会員の会社をお願いすることが出来たこと。その後必要な登記、保険、車両の確保、設備、備品購入、不動産等々、関係する事柄のほとんどが西ロータリークラブのあらゆる業種の会員にお世話になることが出来たこと。その形がいつの間にか自然と出来上がり例会に来ることで仕事が完結してしまうというような理想的な話しもありました。しかもロータリアンとして職業奉仕を実践しているので、安心してお任せできることが何よりも有り難いとのことでした。その他にも人として成長できたことに感謝していると話された方が多くおられました。

ここからは私見ですが、それぞれが企業を経営している中で自らが学びを得られる場というのはとても貴重だと感じています。その中でロータリーの果たす役割は大きく若くエネルギーな会員の姿に刺激を受けることや、人生を知り尽くした懐の大きい先輩の助言は、何かしら自分自身を成長させてくれる、そう感じている会員がほとんどだったということです。これは仏教でいう善知識を大切にすることではないかと思えます。ロータリー活動と同時にこの会員同士の親睦が自分にとって善知識になるのは間違いないことだと感じています。発表は難しく最後までどのようにまとめるか悩み意を尽くせませんでした。集会自体はとても楽しい時間でした。間違いないといえることは参加してくれた会員の皆さんを、今まで以上に好きになることが出来たことは大きな収穫でした。ありがとうございました。

■ 例会予告	4月13日	会員卓話「自己紹介と趣味」	米川 博之 会員	プログラム委員会
	4月20日	雑誌・広報・記録保存について		雑誌・広報・記録保存委員会

出席報告

出席委員会

	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した 免除者の数 (D)	事前メークアップ (E)	事後メークアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	3月16日	61	12	48	9	0		82.6%